

マーケットの動き（2021年6月7日～6月11日）

先週の国内株式市場は、前週末比でTOPIXは下落した一方、日経平均株価はほぼ横ばいとなりました。

4日に発表された米国雇用統計を受けて上昇してスタートしたものの、その後は米国CPI（消費者物価指数）の発表を10日に控え様子見ムードが強まりました。公開された米国CPIはインフレ加速を浮き彫りにする内容でしたが、物価上昇は一時的との見方から米国長期金利が低下したことで、日経平均株価は底堅く推移しました。

投資環境見通し（2021年6月）

利益成長ペースに沿った緩やかな上昇が続く

国内株式相場は、当面は変動率のやや高い状況が続くとみています。決算発表が一巡し、投資家の関心は米国インフレ指標の動向と量的緩和政策の縮小開始時期を巡る思惑と考えられます。国内景気についてはワクチン接種が進みつつあるほか、外需回復が継続していることから製造業中心に企業業績の改善は続くと考えられます。国内株式相場はすでに極端な割高感の後退しており、中長期的な視点からの見直し買いが入りやすいことから、変動率が上昇する可能性はありますが、企業収益の成長ペースに沿って緩やかに上昇するとみています。

	6月11日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,954.02	▲0.26%	2.52%	9.65%	22.98%
日経平均株価	28,948.73	0.02%	1.19%	8.62%	28.82%

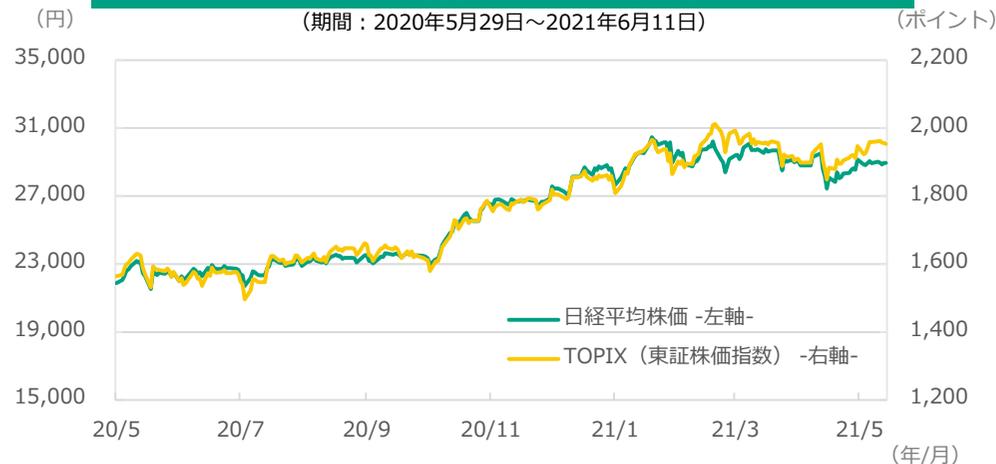
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202106_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2020年5月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成